



講演会報告

雑誌名	外国語教育論集
巻	40
ページ	81-81
発行年	2018-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2241/00151218

講演会報告

グローバルコミュニケーション教育センター主催 新入生に贈る公開講演会を開催

平成 29 年 5 月 9 日（火）、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）CA309 において、グローバルコミュニケーション教育センター主催による新入生に贈る公開講演会「グローバル時代を生きるためのヒントー言語能力と異文化理解力を高めることの大切さー」（講師：白山利信 CEGLOC 外国語教育部門長・人文社会系教授）を開催しました。本講演会は、2006 年度から 2014 年度までは外国語センター主催で開催、2015 年度からはグローバルコミュニケーション教育センター主催で開催している恒例行事です。

講演者の白山外国語教育部門長は、まず、文化とは人々の様々な接触・交流を前提とした価値観の蓄積、すなわち人間集団が生る営みの中で創りあげてきた多様な価値体系であることを述べ、ユニークな例を交えながらそのハイブリッド性を強調しました。そのうえで、文化理解とは当該の人間・集団の価値観を知り認めることであると同時に人間の自己形成や自己実現と結びついていること、外国語の習得は価値観の異なる世界へアクセスするための鍵であること、そして、複雑な相互依存関係に基づく現代社会において求められる交渉力（利害調整力）の重要性とともに、グローバル社会・グローカル社会を生き抜くために多様な外国語教育が必要であることが述べられました。また、こうした展望のもとで、大学在学中に身に付けたい具体的な言語運用能力についても言及されました。

最後に、頭で理解したことと実際にできることは異なるという点に注意を促しつつ、講演者は、聴講した新入生に向けて、外国語運用能力の獲得は母語の運用能力の存在を前提としているため、母語の大切さを意識して、母語で表現し伝達するための言語技術を磨き続けてほしい、失敗を重ねることを厭わず試行錯誤を繰り返して自身の目標に近づいてほしい、とのメッセージを贈りました。



講演する白山教授



講演会の様子